



こんにちは……

ああ、いらっしやい
イヨちゃん

今日も暑いねえ……

この辺だと
これ位普通だよ

うへえ……
そうなんだ



ほら、色々
食べ物まとめて
おいたから

ん、ありがとね



また明後日位に
来るから

はいはい

あ、後
これも頂戴



街場の人間の
考える事は
解らんねえ……

はあ、わざわざ
こんな辺鄙な所にかい



夏の間、兄妹で
山奥の家に
遊びに来てるん
だって

驚いた、あんな
別嬪さん
うちの村にいたか？



しかし、ほんと
暑いなあ……

……



って、ありや？
二人とも
どこ行った？



ただいまあ……
提督、姉貴
ごはんたべよー？



……

……



うっ……!

あ……あ……

あ……あ……

あああっ!
ちよっと、姉貴
ストップ!

あ……あ……



あ……あ……

イヨちゃんとの
約束は守ってますっ……

ホラ、見て……



……まさか姉貴
私がない間は
生でしてたり……

あ……あ……

そっ……
そんな事
ないからっ



むうっ……
でもでも、勝手に
はじめたし
姉貴ズルい……

そうだっ!
提督、私とも
シよっ!
……いーでしょ?

お、おう……

あ……あ……





舐めてたら
濡れちゃったから
そのまま来ても
大丈夫っ!

早くイヨに
突っ込んでよ

イヨ、
いくぞ…

はっ

あはっ

はっ



さ、提督…
早く頂戴?

もう、イヨちゃん
ホントにエッチ
なんだから…

あはっ
ずっぶり
キてるっ…

あはっ

あはっ

あはっ



やっぱり…
なんどシても
キモチイイなあ…っ!

あはっ

あはっ

あはっ

……しかしお前達、
こういう時の声は
そっくりだな

↓

あーあー
あーあー

そんな事
ないぞイヨ……
俺としては
甲乙つけがたい

あーあー
あーあー

そ、そうかなあ？
姉貴よりは
エッチじゃないと
思うけど……

あーあー

あーあー

へへっ……
それはちよっと
うれしいかなっ

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー

提督もちゃんと
興奮してくれてる
ワケだし？

あーあー

こんな風に
バキバキに
カタくしてっ……

って提督っ
コレもう
でちやう？

イヨ、
悪いっ！

あーあー

あーあー



朝っぱらから
二連戦はっ
キツイ!

あゝ
もうっ……提督の
そーろーさんっ!

はっ

うるせえ……

ちびっ……

その代わり
ご飯食べたら
もう一回
だからねっ!

いでしょ?



思ったより
大きい家だな……

暴走しがちなイヨに
引っ込み思案で
気配りが過剰気味の
ヒトミ、この二人には

旅館よりも
こつこつ感じの方が
気楽でいいと
思ったのだ



大規模な特別任務も
終わり、後始末を
大淀にまかせて

休暇を取って
田舎に家を借りた

……うおお



——しかしそれが、マズかった

初日は読書なり、素朴なご飯を食べてのんびりと過ごした



ただ、基本的に観光しようにも山しかないし、刺激に乏しい

飽きっぽいイヨは直ぐに「お遊び」をねだりはじめた

当然、平等に扱わないとヒトミも不満があった

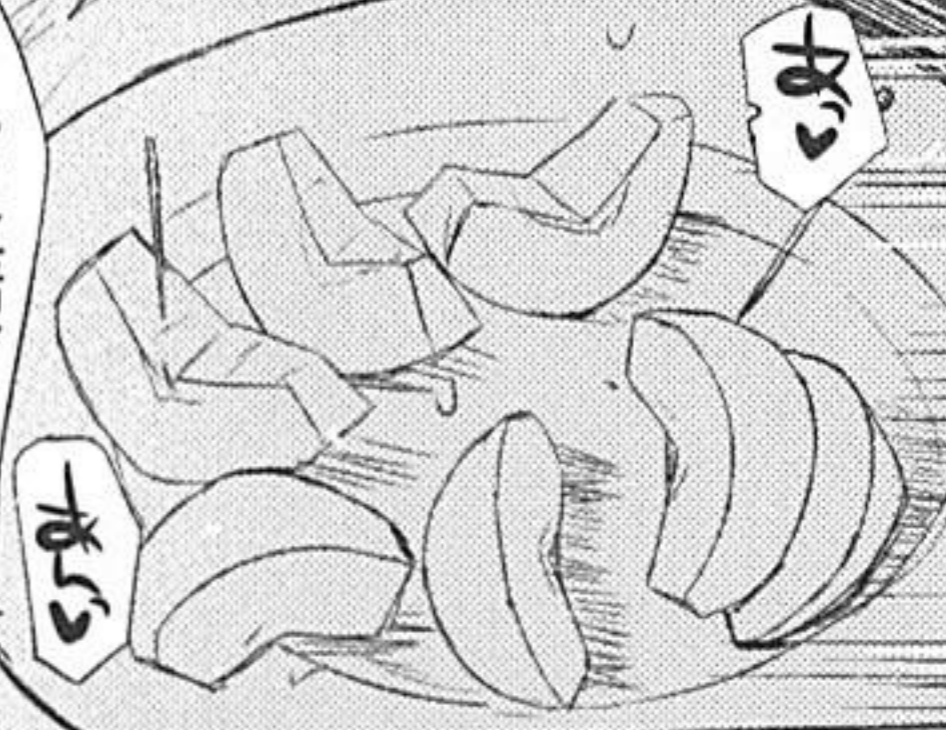


特別任務中はあまり二人を構ってやれなかったのもあった

周りに知人どころか家もないので三人ともタガが外れてしまつて

三日目には気づけば朝から晩まで——

そして六日目の
現在



こんな生活、
大淀やら間宮に
見られた殺されるぞ……
提督、どうぞ
召し上がって下さい



いやあ……
提督は
真面目だねえ
いーじゃん
どうせ誰も
見てないんだし？



たまにはだらーっと
したのもさ……

そ、それに
したってだ……



その割には提督だって
拒まないじゃない！
私たちの為に
いやいやなのに
我慢してくれてるの？

……その言い方は
ズルいな



んふふっ……
余計な事考えずに
楽しもうよ

んっ……



それっ!



ほらっ、イヨだって
いっぱい提督を
食べちゃうんだからっ



ねえどう?
提督もイヨの
お〇んこ、
おいしいっ……?

あ、ああっ!

へへっ、提督の声
可愛いっ……♪



射精しそろう
だったら
いつでもキテ
いいからね?
どうせ
まだまだ時間は
あるんだしっ

好きな様に
びゅーって
イヨにしてねっ?

う、うおおっ!



はあーっ……
キモチ良かった
さーて、お待たせ
姉貴、交代ね!



もう、イヨちゃんっ……
提督に、そんな風に
言ったら……ダメでしょ!



射精るっ……!



……おいで、
ヒトミ

で、でもっ……
そのっ……
いいんですか……?
わ、私にっ……

いやあのさー



—そんな手際良く
準備しながら
言う事じゃないだろお…

す、
すいません…

もつと素直に
なつてもいいんだぞ
ヒトミは

…

ゴ

ウウ



そうそう！
姉貴は提督に
遠慮しすぎだつて

イヨ、
お前は色々と
遠慮しろよ
えーっ…

ぬいぬい

私、提督と…
愛し合うの…
本当に、
幸せなんです…

でも、
拒まれたら…



俺が、ヒトミを拒む
理由なんて
一つもないよ

…っ！
ほ、ホントですか？
うれしい…です

ん



まさかお前っ
んぶっ……!



ふーん……
って事は私も
いーよね?

んふふっ……
ね、提督、
私のお○んこ
だーいすきでしょ?



私と姉貴で
提督をいっぱいに
しちゃうんだから!



さつきより
提督のが……
大きくなって
素敵です……っ

あー……
こういうのも
キモチいいね……



ごめん...
すごくっ...
ビクビクしてきて...

んっ...
提督の顔こんな
ゴツゴツ
してるんだね...

提督
ごめんなさいっ...
イヨちゃんが提督に
ひどい事、してるのに

私っ...腰が、
止まらないですっ

もっどぐりぐり
してあげるっ!
ほらっ、ほらあ...

ごめん...なさいっ...
イっちゃんいます...!

ん...そろそろ
イクよっ...
てーとくっ



ハッハッハッ...

ハッハッ...

カッ

ズン

ハッハッ...

はあっ...はあ...
俺を殺す気か？

ズン

はっ

イヨと姉貴に
困まれて死ぬなら
本望でしょ？

お前なあ...

ズン

はっ

はっ

はっ



……もう、
打ち止めだん

うそお……
まだまだ提督の
おち○ちん
大丈夫じゃない？

そっちもだいぶ
ヤバいが……
もうゴムがない

えー、
そうなの？



いーじゃん、
そんな簡単に
赤ちゃんなんか
できないって！

ね？まだまだ
いけるっしょ！
エッチしょっ！

お前なあ……
兎に角、まだ後
三日あるんだ

たまには
ゆっくりさせてくれ

流石にやり疲れて
鎮守府に帰るってのは
ダメすぎるだろ？



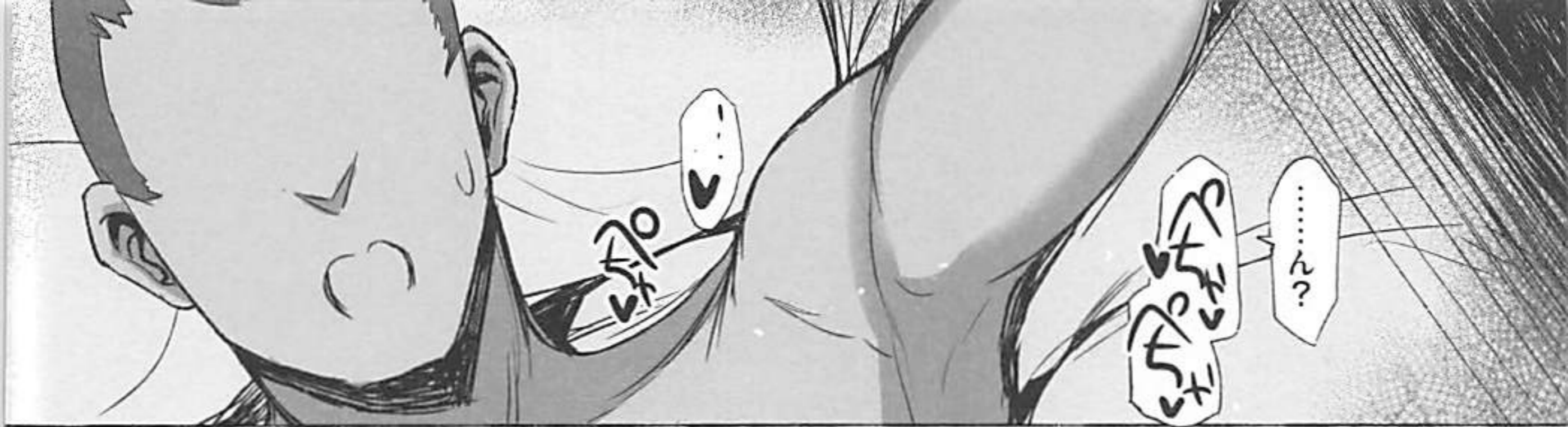
む……

あ、ほら……
再利用して使えば

それは流石に
マズいだろ……



おい、イヨ
……聞ってるのか？



……ん？



っ！なにしてたんだ
二人とも！
……ってその格好っ！

指定の制服
持ち出したのか
お前ら……
ホントに大淀に
殺されるぞ……
俺がな……！！



……これ、大淀さんに
許可を貰って……
持ち出したんですよ？
ん……
は、はあ！？
ど、どういう事だ
ヒトミっ……

うおおっ……

提督、いつも私たちの水着エッチな目で見てるじゃない？

皆の間で……ウワサになってますよ……

マ、マジか……

この格好でさせてあげたいなって

それでえ、大淀さんに頼んでお古のを持ち出したワケ

大淀さんはノリノリでオツケーしてくれたよ

た、確かにアイツ妙にノリがいい時はあるが……

提督へのサービスに使って下さいって

んふふっ……

お、おい何する気だっ？

はい、できた！

それは……見てれば解るよ





これから……
覚悟して下さいね、
提督……

私たちと、
いっぱいセックス
して貰いますから

……おお、やる気
まんまんだね

イヨも姉貴に
負けてられないなあ

ぽっ

んっ

んっ



……ちよ、
ちよっと待て！

んっ……
おっきい……
ゴムが……
無いんじゃ……

……
そんなの、もう
知りません……

んっ
んっ
んっ

んっ

んっ
んっ



提督、ください……
お願いですっ……

私と一緒に、
行って下さい……

おち○ちんから
赤ちゃんの素……
下さいっ……
お願い……です……

提督、
諦めなよっ……

うぐっ……



もう、
射精るっ……!!

ああ……

アッ……

アッ……



うわあ……
姉貴、どう？

アッ……

す……
す……
すごかったあ……

アッ……

アッ……

じゃあ、
次はイヨの番♪

一度中に
射精しちゃったら
二度目も二人目も
おんなじでしょ？

はい

全然違うだろ……

私からも……
お願いします

私とイヨちゃん
一回ずつで
いいですから

し、仕方ないな……
一度だけだぞっ……!

やっ……
なんか、何時もより
おつきくない？

んー……提督の
おち○ちんの形も

いつもより
良く解るね
これっ……

はい

イイかもっ……



提督、失礼します……

うおお……っ！

ヒトミ、そこはっ……

んっ……

これっ、提督と生セックスっ……凄くイイよっ

お前……締めすぎっ

ぐっ……搾り取られるっ

いいよっ射精して提督っ、ちよーだい





……こ、これで
終わりだからな

生でおま○こするの……
こんなになーいんだね



い、イヨちゃん
くすぐったいっ……!

勿論、終わる筈
無かったー

それどころか
二人にとつて
最後の防波堤
だった様で……

おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ

おっおっおっ

二人とも欲望が
止まらなくなつて
しまった

...

ズズズズ

ズズズズ

ズズズズ

ほら

おっおっおっ

知ってる？
イヨだって、
姉貴と同じ位
提督の事
好きなんだから

ずーっと
赤ちゃん欲し
かったんだよ？

おっおっ

おっおっ

ズズズズ

おっおっ

おちおち

N-ラヴ's
おちおち

おちおち

おちおち

おちおち

おちおち

その後の二日間
時間の限り
三人と絡み合い続けた……

おちおち
おちおち
おちおち

おちおち

おちおち

おちおち

……提督、
もう一回だけ……
お願いします

確実に、
念入りに……
おま○こして

いっぱい
射精下さい……

おちおち

最後の方は
記憶もあいまいだ……

おちおち

おちおち

おちおち

す、すごく……
素敵でした……
提督……

姉貴……
気持ちよかったね
赤ちゃんもきつと
デキちゃってるし

あーい

お、お前ら……
そんな軽い感じで……
これから
どうするんだよ

その……
大丈夫ですよ

愛が、あれば……
何とか
なりますから……

アッ



INST
ADULT ONLY

TITLE : DROWN IN IT

CIRCLE : INST

AUTHOR : Interstellar

DATE : 17/12/31

PRINT : Ueno Printing Co., Ltd

WEB : <http://instovdr.sakura.ne.jp/>

MAIL : instovdr@hotmail.com